

2021年12月期 決算説明資料

2022年2月
株式会社福田組

証券コード：1899

目次

1. 会社概要	P3
2. 2021年12月期決算概要	P6
3. 2022年12月期通期見通し	P13
4. 中長期経営計画の現状と今後	P18



会社概要

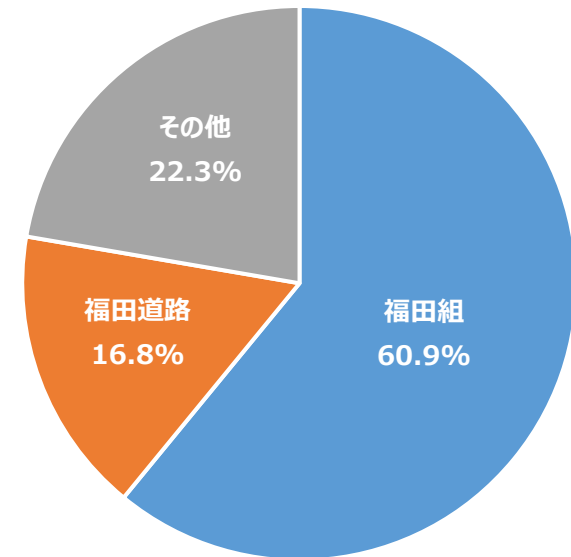
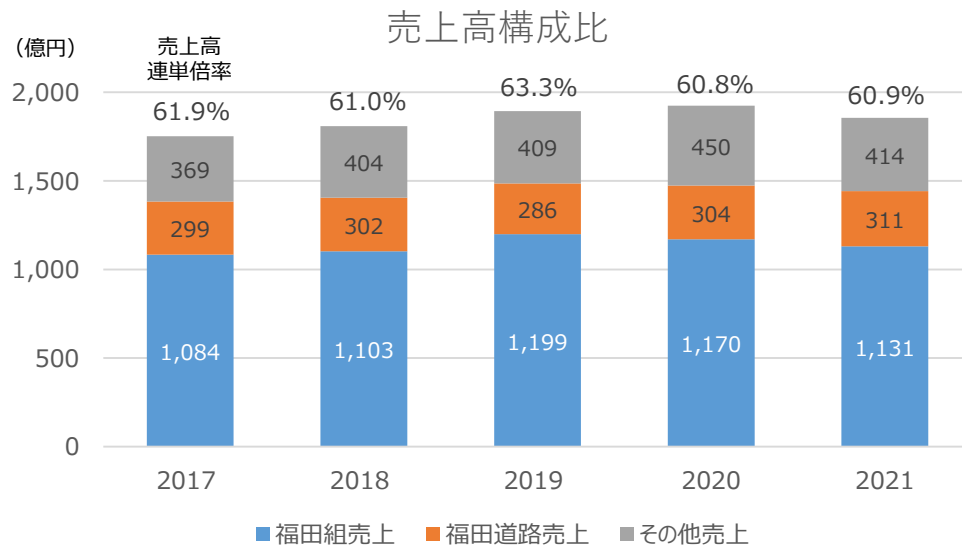
会社概要：120年の歴史を持つ新潟県の建設会社



商号	株式会社福田組 (Fukuda Corporation)
事業	<ul style="list-style-type: none">・新潟県を地盤として全国展開する総合建設（土木・建築）会社・当社の企業集団は、当社、子会社27社、関連会社6社で構成・優良工事表彰・優良建設技術者表彰を数多く受賞 <p>*平成26年度以降、国土交通省「工事成績優秀企業」認定を継続</p>
創業	1902年（明治35年）1月（創業120年）
設立	1927年（昭和2年）12月（設立94年）
業績	売上高1,798億円、営業利益88億円（連結：2021年12月期）
資本金	51億円（2021年12月末現在）
本社所在地	新潟県新潟市中央区一番堀通町3-10
東京本社	東京都千代田区九段北3-2-4
支店・営業所	新潟県以外に北海道、東北、名古屋、大阪、九州など、全国
従業員数	2,096名（連結：2021年12月末日現在）

**福田組単体の売上高連単倍率は60%台で推移
福田道路、その他の業績は安定的に推移**

売上高構成比
(2021年12月期)



※各構成比にあたっては、連結調整前の個別数値を使用しています。



2021年12月期決算概要

コロナ禍で減収となるも、前年並の利益水準で推移

売上高 1,798億円 (前期比△ 3.2%)

営業利益 88億円 (前期比△ 0.2%)

売上高減少 : コロナ禍による受注高の減少が影響するも、主要子会社での売上高は増加。

営業利益微減 : 売上総利益率の改善及び販売費・一般管理費の減少により前年からの微減に留まる。

2021年12月期決算：予想を上回る業績



売上高・営業利益・経常利益・当期純利益すべて予想比増加

単位：百万円

	2020/12 ①	2021/12 ②	増減 ②-①	増減率	2021/12 業績予想
売上高	185,764	179,846	△5,917	△3.2%	175,000
売上総利益	19,071 (10.3%)	18,744 (10.4%)	△327	△1.7%	17,500
販管費及び 一般管理費	10,165 (5.5%)	9,852 (5.5%)	△313	△3.1%	9,700
営業利益	8,905 (4.8%)	8,891 (4.9%)	△14	△0.2%	7,800
経常利益	9,038	9,147	109	1.2%	8,000
親会社株主帰属 当期純利益	5,979	5,864	△114	△1.9%	5,300

* カッコ内は対売上高比率

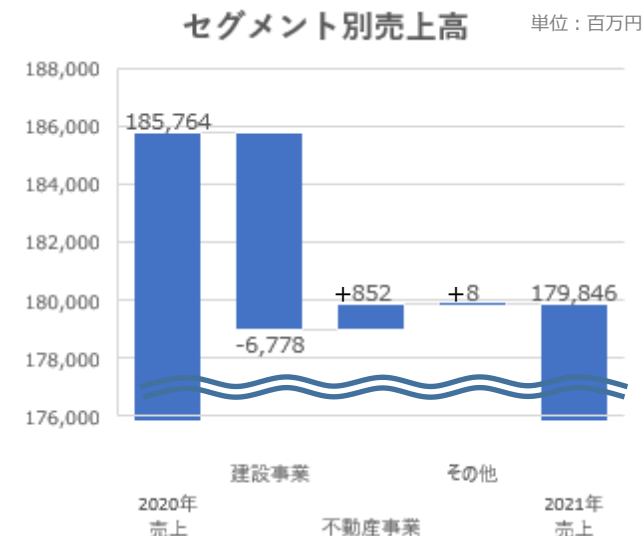
2021年12月期決算概要：セグメント別売上高



建設事業は減少したものの、不動産事業及びその他事業は増加。

単位：百万円

売上高	2020/12 ①	2021/12 ②	増減 ②-①	増減率
建設	181,568	174,789	△6,778	△3.7%
不動産	3,541	4,393	852	24.1%
その他	654	662	8	1.2%
合計	185,764	179,846	△5,917	△3.2%



<建設>

- ・手持工事に対しては順調に進捗したものの、受注高の減少により、売上高減少。

<不動産>

- ・不動産販売事業が伸長し、売上高増加。

<その他>

- ・特段の状況変化もなく、前年並の水準で推移。

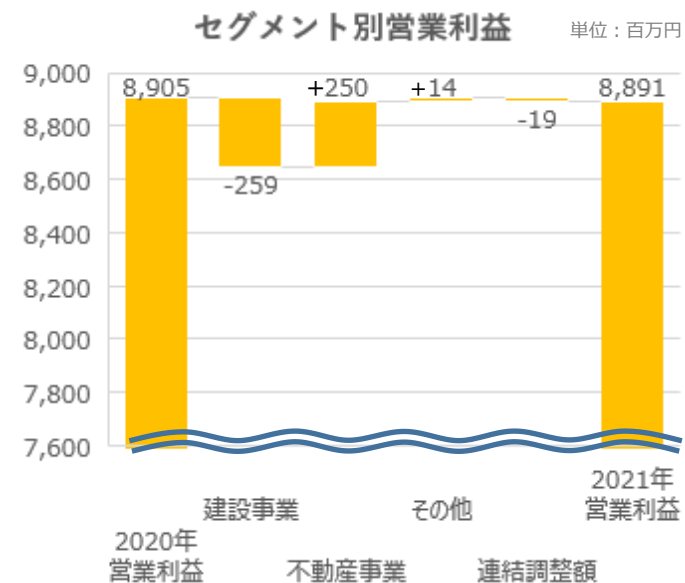
2021年12月期決算概要：セグメント別営業利益



建設事業は減少したものの、不動産事業及びその他事業は増加。

単位：百万円

営業利益	2020/12 ①	2021/12 ②	増減 ②-①	増減率
建設	8,747	8,488	△259	△3.0%
不動産	263	513	250	95.1%
その他	33	48	14	43.6%
連結調整額	△138	△ 158	△19	△14.4%
合計	8,905	8,891	△14	△0.2%



<建設>

- ・売上高減少により減益。

<不動産>

- ・収益性の高い不動産物件の販売により大幅増加。

<その他>

- ・福祉施設事業等の採算性が改善し増益。

2021年12月期決算概要：貸借対照表



流動資産・負債が大きく減少

単位：百万円

	2020/12末 ①	2021/12末 ②	増減 ②-①	備考
流動資産	102,288	95,462	△6,826	売上債権△6,255
固定資産	35,273	35,292	19	
資産合計	137,562	130,755	△6,807	
流動負債	58,717	47,024	△11,693	仕入債務△4,060 短期借入金△4,835 未成工事受入金等△3,669
固定負債	7,508	7,318	△190	
負債合計	66,226	54,342	△11,883	
純資産	71,335	76,412	5,076	
自己資本比率 (%)	51.4	57.9	6.5	
負債純資産合計	137,562	130,755	△6,807	

<流動資産>

- ・ 期末の稼働工事減少により売上債権が減少。

<流動負債>

- ・ 期末の稼働工事減少により仕入債務及び未成工事受入金が減少。
- ・ 営業活動キャッシュ・フローによる返済で短期借入金が増加。

2021年12月期決算概要：キャッシュ・フロー



営業活動キャッシュ・フローが大幅改善

単位：百万円

	2020/12 ①	2021/12 ②	増減 ②-①
現金同等物 期初残高	23,171	23,116	△54
営業活動CF	6,909	7,802	893
投資活動CF	△2,193	△ 1,505	688
フリーCF	4,715	6,297	1,581
財務活動CF	△4,680	△ 6,128	△1,448
連結範囲減少額	△90	—	△90
現金同等物 期末残高	23,116	23,285	168

- <営業活動CF> ・仕入債務は減少したものの、売上債権の減少幅が大きかったことから増加。
- <投資活動CF> ・有形固定資産の取得に係る支出が減少。
- <フリーCF> ・営業活動CFの増加、及び、投資活動CFの増加を受け、フリーCFは大きく改善。
- <財務活動CF> ・借入金返済により減少。



2022年12月期通期見通し

2022年12月期業績見通し



減収減益を予想

単位：百万円

	2021/12① (実績)	2022/12② (計画)	増減 ②－①	増減率
売上高	179,846	155,000	△24,846	△13.8%
営業利益	8,891	6,200	△2,691	△30.3%
経常利益	9,147	6,400	△2,747	△30.0%
親会社株主帰属 当期純利益	5,864	4,100	△1,764	△30.1%

<売上高>

- ・2021年度からの次期繰越工事高の減少とコロナ禍の長期化により減収を想定。

<営業利益>

- ・売上高減少に加え、建設資材の物価上昇を踏まえ、減益を想定。

(個別) 受注高 見通し



前期比 +24.3%増加を目指す

単位：百万円

	2021/12① (実績)	2022/12② (計画)	増減 ②-①	増減率
受注高	84,442	105,000	+20,557	+24.3%

<土木>

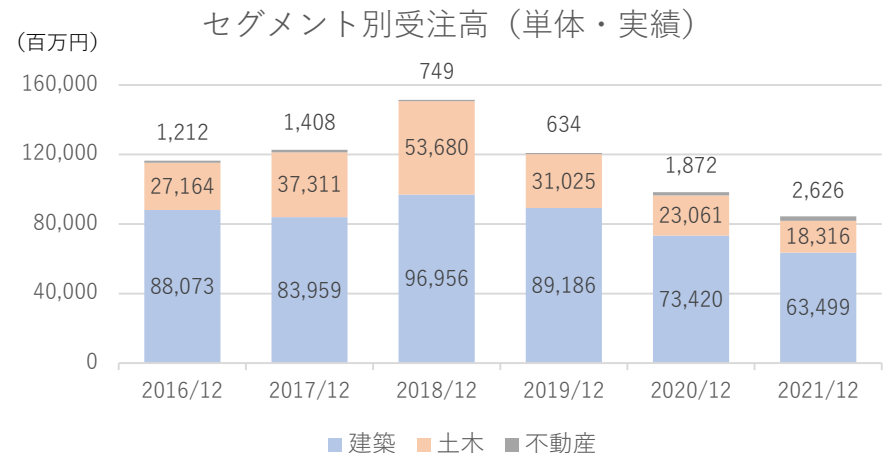
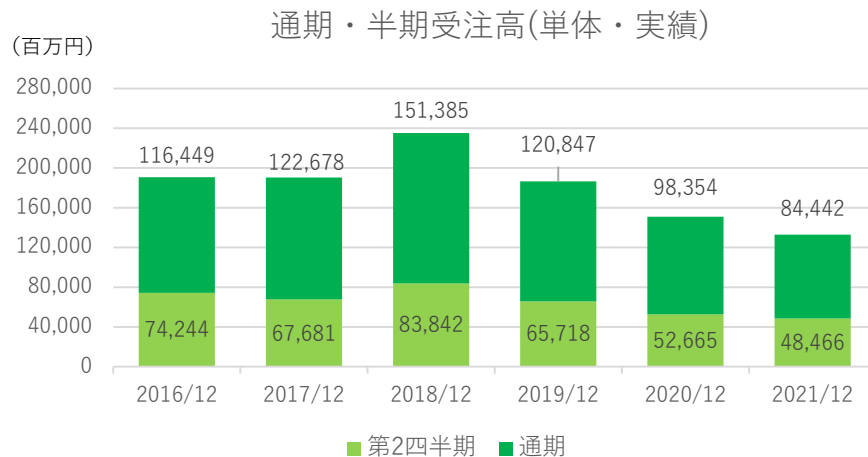
- ・引続き官庁工事の安定的な受注を図りながら、民間工事（再生可能エネルギー関連等）の受注増を目指す。

<建築>

- ・全国規模での大型物流施設や商業施設を中心に受注増を目指す。

<不動産事業>

- ・九州エリアでの販売物件の受注増を見込む。



(個別) 土木・建築の受注高・繰越工事高

受注高減少に伴い、繰越工事高減少

単位：百万円

	2019/12	2020/12 ①	2021/12 ②	増減 ②-①	増減率
受注高*	120,212	96,481	81,815	△14,665	△15.2%
(土木)	(31,025)	(23,061)	(18,316)	(△4,745)	△20.6%
(建築)	(89,186)	(73,420)	(63,499)	(△9,920)	△13.5%
繰越工事高*	144,558	125,859	97,228	(△28,630)	△22.8%
(土木)	(62,791)	(52,232)	(38,521)	(△13,711)	△26.3%
(建築)	(81,766)	(73,626)	(58,707)	(△14,919)	△20.3%

*不動産開発の受注は、除く。

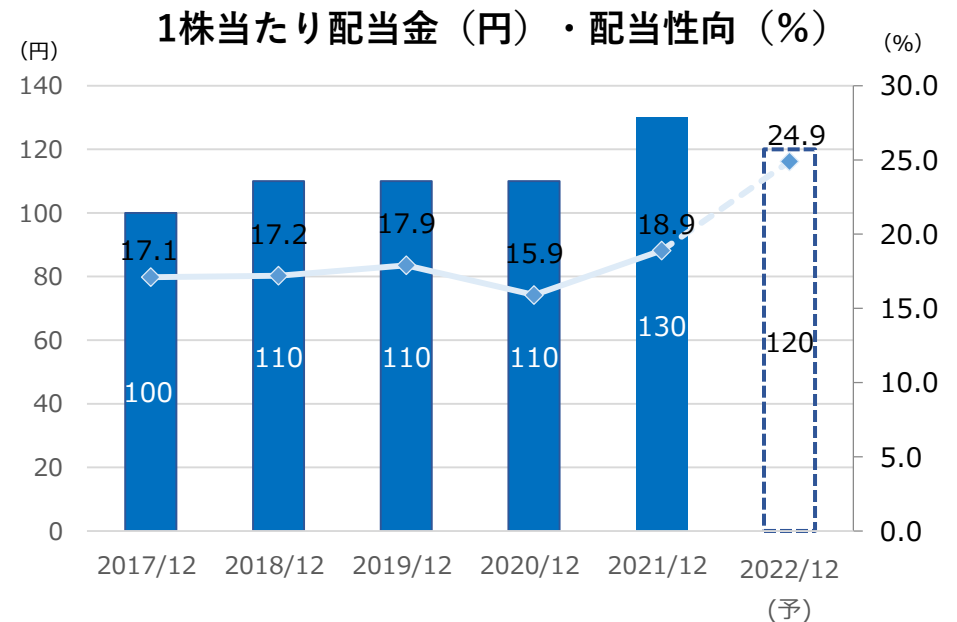
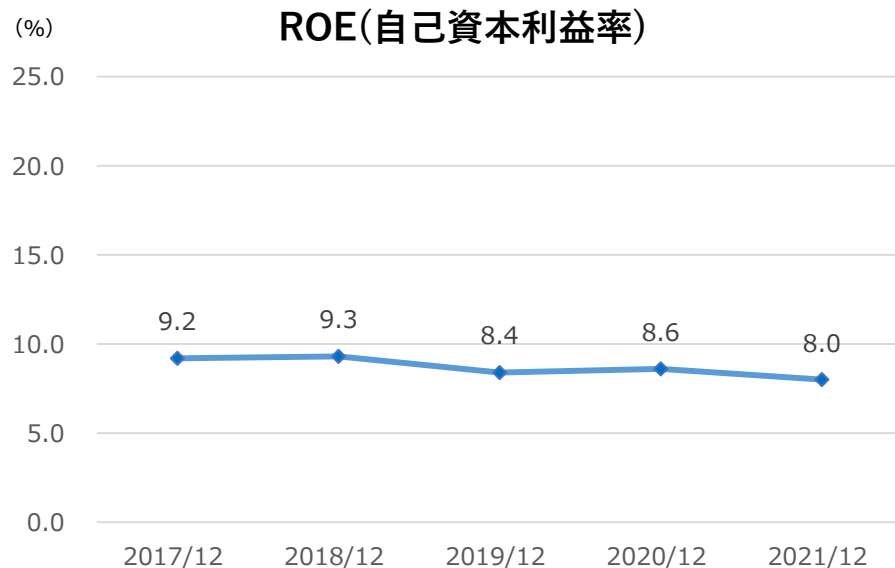
安定的な配当・株主還元を実施



株主還元：配当性向18.9%
安定配当をベースに、還元策の積極化を目指す

2021年12月期（予定）：130円

2022年12月期（予想）：120円 ※普通配当110円 記念配当10円





中長期経営計画の現状と今後

中期経営計画2021：営業利益は達成、有利子負債の抑制



- ・ コロナ禍・競争環境激化で、売上高未達だが、コスト低減により営業利益は達成
- ・ バランスシート・マネジメントに注力し、有利子負債は抑制

業績目標と達成状況

項目	2021年12月期 中期経営計画	2021年12月期 実績	達成状況
売上高	1,890億円	1,798億円	▲92億円
福田組単体	1,235億円	1,131億円	▲104億円
(建築・土木)	(1,200億円)	(1,104億円)	(▲96億円)
(開発事業)	(35億円)	(26億円)	(▲8億円)
グループ会社	655億円	667億円	+12億円
営業利益	79億円	88億円	+9億円
福田組単体	58億円	58億円	±0億円
(建築・土木)	(95億円)	(92億円)	(▲3億円)
(開発事業)	(8億円)	(6億円)	(▲2億円)
(販管費)	(▲45億円)	(▲40億円)	(▲5億円)
グループ会社	21億円	30億円	+9億円

経営数値目標と達成状況

項目	2021年12月期 中期経営計画	2021年12月期 実績	達成状況
自己資本比率	50%以上	57.9%	+7.9%
有利子負債残高	20億円程度	10億円	▲10億円
純資産配当率	1.6%程度	1.5%	▲0.1%
配当性向	20.0%	18.9%	▲1.1%

中期経営計画2025の位置づけ

当社の目指すべき姿

長期ビジョン2025 『100年の歴史の伝承と次の100年に向けた挑戦』

(2016年2月公表)

強い連結経営で
地方ゼネコンの枠を超えた全国展開

全てのステークホルダーと
WIN・WINの関係を構築

品質と安全で
顧客満足創造

高い技術力・高い提案力
のある企業集団

優秀な人材の確保と活躍
できる環境の整備

収益性指標：ROE 安定的に8%程度

株主還元：純資産配当率2.0%又は配当性向20%を目安に

次期長期
ビジョンへ

2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
------	------	------	------	------	------	------	------	------	------

2026……2030……

前 中計2018 phase1

- ・業績回復
- ・受注取り込み
- ・財務基盤の安定化

前 中計2021 phase2

- ・事業のポートフォリオ変革
- ・新たな収益基盤
- ・人材の確保・多様化

中計2025
最終phase

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

2030年及び
その先の
更なる飛躍へ

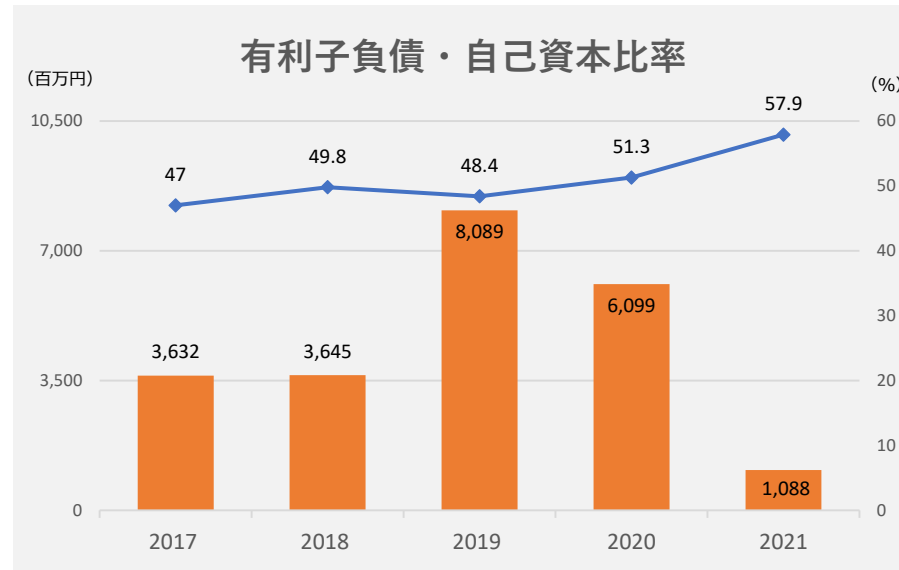
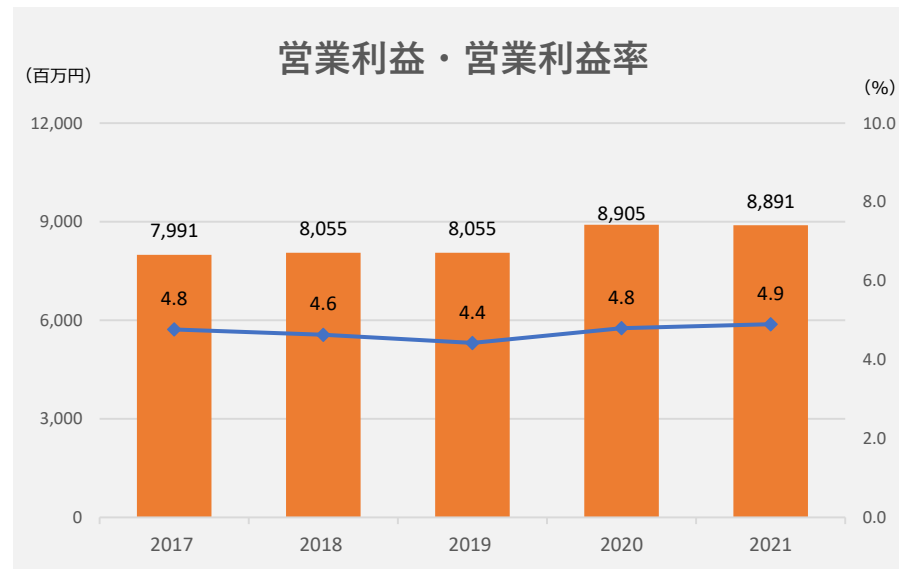


地域に根差し、地域を超えて マルチ・ステークホルダーとの 強い絆を築く



社会環境の変化を成長のエネルギーとし、真の課題に対し丁寧に向き合い、解決に向けて全力で取り組む。柔軟な思考の変化による挑戦と、安定した経営基盤をより効率化・強固にして取り組む挑戦を同時に行い、持ち前の誠実さで、顧客・社員・株主・地域社会・協力企業にとって欠かせないパートナーを目指す。

(ご参考) 主要業績指標の推移



本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、
本資料の発表日、現在において入手可能な情報から得られた判断に基づいており、
実際の業績は、様々な不確定要素により異なる場合がございますことをご了承くださ
い。

100年先も誠実



株式会社福田組 証券コード：1899

2021年12月期決算説明資料

2022年2月

連絡先：経営企画部 経営管理室 TEL 025-266-9199（大代表）